

## 北海道国際会議等誘致推進会議議事録（概要）

平成20年9月11日（木）

11:00～11:30

### 1. 開会挨拶（高橋 北海道知事）

「今日はお忙しい中、北海道経済連合会の近藤会長をはじめ、皆様方のご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。北海道国際会議等誘致推進会議の設置にあたりまして、ひとことご挨拶申し上げます。

7月のサミットの開催については、本道にとりまして世界的な知名度の向上や自然の美しさなど、本道の優位性を内外にアピールする絶好の機会となったと理解しております。そして、何よりも民間の方々と行政の力を結集してサミットを成功に導いたことは、我々道民にとって大きな成果であり、新たな自信につながったと考えるところであります。

道といたしましては、こうしたサミットの成果を将来に亘っていっそう発展させながら、北海道の地域全体の活性化に結びつけていくことが重要だと考えておりました。官民協働でポストサミットに向けた取組を進め、国際会議等の誘致については、その重要な柱の一つに位置づけてまいりたいと考えているところであります。この背景には、サミットの開催前に、閣議了解という形で政府が北海道の国際会議誘致をサポートする意思表示をしたことも追い風になっております。

こうした中、来年日本で開催される日本・太平洋諸島フォーラム首脳会議、いわゆる太平洋・島サミットなどの誘致について、私から総理大臣や先般外務省など、関係先に対して本道開催の要請を行ったところでございます。本道の優位性を世界にアピールし、さらなるプレゼンスの向上に資するものとして、誘致活動を行ってきたところでございますが、今後とも道内全域の活性化に結びつく様々な国際会議を積極的に誘致していくために、オール北海道体制で取り組むことが大切だと思っております。

本日は、国際会議誘致に向けた協働体制づくりの第1歩でございまして、お集まりの皆様と活動をともにしながら、日本で国際会議と言えば北海道と言われるようになることを目指して取り組み、そして、この際には地域バランスのこともしっかり考えながらやっていきたいということを申し添えて、皆様のご協力を心からお願いし、挨拶とさせていただきます。」

## 2. 経過報告

事務局から配付資料1から4を用いて、推進会議の設立までの経緯について説明を行った。

- 配付資料1 閣議了解「国際会議等の北海道開催の推進について」
- ” 2 各省庁連絡会議の設置について
  - ” 3 第1回各省庁連絡会議における北海道プレゼンテーション
  - ” 4 「日中韓首脳会議」、「日本・太平洋諸島フォーラム首脳会議」の北海道誘致に関する要望について

## 3. 議 事

- (1) 事務局が提案した北海道国際会議等誘致推進会議規約(案)への承認が得られ、同会議が成立した。
- (2) 基本方針(案)に関する審議が行われ、「北海道国際会議等誘致推進会議基本方針」が承認された。
- (3) 会長専決事項として、
  - 北海道経済産業局長、北海道開発局長、北海道運輸局長に本会議の顧問の就任を依頼すること
  - 北海道コンベンション誘致推進協議会を幹事会構成員に加えること
  - 北海道知事政策部長を本会議の幹事長に選任することが確認された。

## 4 意見交換等

(岩月 北海道運輸局企画観光部長)

配付資料に沿って、国の国際会議誘致推進施策に関して説明。

(近藤 北海道経済連合会長)

- ・「サミットの開催により、北海道が国際会議開催の場として、さらには観光地として、内外からたいへん高い評価を受けた。」
- ・「閣議了解という北海道での国際会議の開催に対して与えられたチャンスを活かし、官民一体となって誘致を推進し、北海道経済の活性化につなげていきたい。」

- ・「国際会議に出席された方々に北海道のファン、北海道のスポークスマンになって帰国していただき、東アジアにおける国際会議及び観光の拠点になることを視野に入れていきたい。」
- ・「国際会議の取組と併せて、内外からのお客様の受け入れ体制、ハードソフト両面の整備が必要であろうと考える。ハード面では観光の視点に立った交通体系の整備が引き続き必要であり、ソフトの面では、お客様の視点に立ったおもてなしの心を向上させて行く必要がある。」
- ・「まずはお客様や専門家の意見や内外の成功事例についてよく勉強して多くを学び取り、北海道の優位性を活かした観光ブランドをしっかりと確立していくことが必要であろうと考える。」

（天野 北海道経済同友会常任幹事）

- ・「国際会議に相応しい施設を我々道内にどのくらい有しているのか、何人規模なら開催可能なのか、そういう情報の整理が必要である。」
- ・「通訳なども必要であるが、現在は、潤沢ではない。」
- ・「受け皿をつくるにはそれなりの覚悟も必要であり、他地域に比べ欠けている部分もしっかり補完していく必要がある。」

（高橋 北海道知事）

- ・「情報の共有はもちろん、それぞれ耳の痛いことも言い合って状況を改善していくことが大切だと思う。」
- ・「それぞれの地域の既存の施設に合う会議を地域に誘致してくるスタンスを基本に据えていきたい。北海道洞爺湖サミットもリトリートとコンパクトサミットを提唱し、既存施設の活用であたった。」
- ・「本日は、運輸局から国の支援メニューのご紹介などもあり、たいへん心強く思った。今後ともメンバー各位の間での開催情報の共有をしっかりと図りながら、オール北海道で誘致活動をしっかりと進めていきたい。」

以 上